

「右肩上がりの幸せな人生」実現に向けて～「55歳以上の人達」の対応策

「定年消滅」（※アメリカやイギリスでは、年齢を基準に退職させる定年は違法となっている）や『80歳まで働く』時代を迎えようとしている中において、大手企業で“昭和の負の遺産”とも言うべき「働かないオジサン」（=新50代問題）や「70歳定年」が問題となっている。——この問題の根本原因は、当事者の50代が新たに出現した“二大リスク”（=長生きリスク & 社会保障／雇用の制度変革）と『職業寿命／健康寿命／社会活動寿命』の存在を理解していないことにある

でも、“55歳の壁”（=役職定年／役割交代で自分を見失ってしまう）にぶつかって、心身を痛め付けているようでは、伸ばさないといけない『健康寿命』を、逆に、縮めてしまいます。

→『人生100年』時代の「人生最大の難問」は、『健康寿命100歳』（=男性95歳／女性100歳）へのアプローチです。“75歳の壁”（=健康寿命が尽きてしまう）くらいで立ち往生していたら、先の人生は暗くて辛いものになってしまいます



BST
コメント

“右肩下がりの社会”の中であっても、「右肩上がりの幸せな人生」を実現する鍵は「幸福の総量」（=『Well-being』+『Well-doing』）を右肩上がりに、最後まで積み上げていくことである

そのためには、“75歳の壁”を楽々と乗り越え、その後の人生を存分に楽しみながら、「右肩上がりの幸せな人生」を実現するという「成功例」（=Success example）を、次世代に残していくことが、現役年長組である「この世代」の責務です。

→「成功例」を残していくことが、『人生100年』という新しい時代における「一番の社会貢献」（=Best Social Contribution）となります

BST
コメント